

2013 年 9 月 8 日 「お母様の一言「一つになった」」 石川祐司教会長

以下に、訓読のみ言を掲載いたします。

<訓読のみ言>

『天聖經』

真の父母 第6章「真の父母」と我々

(6) 生命視すべきこと ②一つになりなさい

皆さんは、「真の父母」の心情的な内容をどれほど知っていますか。また、血統問題、人格問題、み言の問題、生活問題、そして国家観、世界観、宇宙観が、「真の父母」とどれほど一つになっていますか。これは、皆さんが本当の意味で神様の真の息子、娘になり得るかという問題を決定づける母体になるのです。皆さん自体だけでは不安なために、どのように皆さんを「真の父母」とつなげるかというのが問題です。根源がなければなりません。すなわち、その核心がなくてはならないのです。(28-247, 1970.1.22)

「真の父母」とは何かというと、皆さんの父母の代わりです。本来の父母が「真の父母」です。皆さんの父母と皆さんは、一つにならなければなりません。では、おじいさんは誰ですか。神様です。神様の命令に対しては、「真の父母」も勝手にできません。父母は自分の息子、娘を、おじいさんが願う道に連れていかなければなりません。それが、父母の行く道です。「真の父母」が復帰の道を行くなら、皆さんも復帰の道を行かざるを得ないのです。最小限度の責任分担である5パーセントを完遂しなければなりません。それを知るべきです。皆さんの妻を愛する以上に、父母を愛する以上に、神様を愛さなければなりません。皆さんの息子、娘を愛する以上に、神様を愛しなさいということです。それを基盤として、世界に拡大するのが、統一教会の理想世界です。本然の世界です。(128-30, 1983.5.29)

先生は、もう一次アダム、二次アダム、三次アダムの根をみなもっています。それゆえ、皆さんは第一アダムと第二アダム、第三アダムを接ぎ木さえすれば、すべて終わるのです。根は一つなのです。それで、愛、生命、その次には血統です。縦横の神様の愛が生命の交流をすることによって、血統が生まれたのです。それゆえ、皆さんは、誰よりも先生を愛さなければなりません。誰よりも「真の父母」と一つにならなければなりません。真なる愛を中心とした血統であるために、そこには相続権があり、同位権があり、同参権があるのです。それで、サタンが接近し得ないのです。(189-223, 1989.4.6)

う。